



いずみさの昔と今 第241回

「写真で振り返る泉佐野の風景②」 「駅と周辺の風景」

ご覧いただいている写真は、昭和28（1953）年に撮影された南海泉佐野駅山側の風景です。現在の泉佐野センタービル付近にあった旧市役所庁舎に隣接する消防署の塔から、海岸、北東方向に複数撮影され、その写真をつなぎ合わせたパノラマ仕立てとなっています。

写真には、左奥に南海泉佐野駅、その奥には佐野町場とその先に大阪湾が見えます。泉佐野駅に隣接して旧第二小学校の運動場や講堂、校舎、瓦葺の民家などが建ち並び、右手奥には昭和27（1952）年に開院した旧市民病院が見えます。写真をよく見るとあちこちに煙を出す煙突がたち、多数の工場が稼働していたことがわかります。

さて、泉佐野駅前にあった旧第二小学校は昭和34（1959）年の火災で校舎を焼失したため、翌年11月高松町の現在地へ移転しました。それまでは泉佐野駅海側の商店街が賑わいを見せていましたが、旧第二小学校の跡地が整備されたことによ

り、駅の山側にも新たな賑わいが生まれました。移転後も旧第二小学校講堂はしばらく市の行事などで使用されていましたが、昭和38（1963）年には市制施行15周年に合わせて旧泉佐野市民会館が建設されました。昭和39（1964）年からは駅周辺整備が進められ、ロータリーや噴水などが設けられ、昭和42（1967）（69）年には商店街ビルも完成しました。その後も銀行や商業施設などが建設されました。

関西空港の建設に合わせて泉佐野市内では社会基盤が整備され、駅上の開発が山手に向かって進み、泉佐野センタービル、商業施設、ホテル、マンションなどが建設され、写真の風景は約60年で現在の姿へと大きく変貌を遂げました。

ここで紹介した写真は、レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのの特別展示「泉佐野の風景と文化財」写真で見ると移り変わりが（1月24日（日）まで）ご覧になれます。



▲昭和28（1953）年に撮影された南海泉佐野駅山側の風景

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜日除く）
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 入館料 無料

消費生活センターたより

見守りリーフレット
相談受付 午前9時～午後4時30分
南海線「泉佐野」駅前 ☎469-2240

マイナンバー制度に便乗した詐欺などにご注意

マイナンバーは、外国人も含めて日本で住民票を登録しているすべての人に付けられる12桁の番号で、原則として一生変わりません。

地方自治体がばらばらに管理している個人情報、個人番号（マイナンバー）に集約することにより、所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止できます。法律では社会保障、税、災害対策の分野での利用に限られています。

今年の1月からは、通知カードと一緒に送られてきている個人カード交付申請書により、無料で個人番号カードを受け取ることが出来ます。

個人番号カードは顔写真付きで、ICチップにはインターネット上での取引などで本人確認に

必要な電子証明書の機能があります。盗難や紛失により個人情報が第三者に漏れると悪用される恐れがあるため、番号の変更が可能な場合もあります。また最初にカードを受け取る時は無料ですが、再発行してもらった場合は、泉佐野市の場合、通知カードは500円、個人番号カードは800円（電子証明機能を利用する場合はプラス200円）と有料になります。それ以外の事で行政機関がマイナンバーに関してお金やキャッシュカードを要求したりすることはありません。また口座番号や暗証番号、所得や資産の情報、家族構成や年金、保険の情報などを聞くことはありません。

このような個人情報を問い合わせるような電話や訪問、メールなどがあっても無視し、自分の個人情報や第三者に漏れないよう、悪用されないよう注意してください。

個人番号カードの盗難や紛失に気付いた時は、クレジットカードの紛失時と同じように、個人番号カードコールセンター（☎0570-783-578、IP電話など）でつながらない場合は☎050-3818-1250、通話料無料のフリーダイヤルは☎0120-950178）にご相談ください。